

*問46 問44と同様に、資産管理費用に対する手数料について、総額、1人当たりの金額を表中にそれぞれ数字でご記入下さい。また、算定方法、負担者および掛金の内外の区別については、該当する番号に○をお付け下さい。

費用項目	総額 (万円)	1人当たり金額 (円)	負担者	掛金の内外の別 (事業主負担があるケースのみ)
初期費用	万円	円	1 事業主 2 加入者 3 事業主と加入者の両方 (:)	1 含む 2 含まない
維持管理費用 (月単位)	万円	円	1 事業主 2 加入者 3 事業主と加入者の両方 (:)	1 含む 2 含まない

*問47 問44と同様に、投資教育に要する費用（対外的な費用のみ）について、総額、1人当たりの金額を表中にそれぞれ数字でご記入下さい。

費用項目	総額 (万円)	1人当たり金額 (円)
導入時の費用	万円	円
導入後の継続教育に 要する費用 (月単位)	万円	円

VII 運用商品について、以下の項目にお答え下さい。

問48 現在、加入者に提示している運用商品数をご記入下さい。またそのうち、元本確保型の運用商品数をご記入下さい。

商品総数 ()
うち 元本確保型商品数 ()

問49 《参考》に示すとおり運用商品を大まかに類型化しております。この商品類型と具体的商品の例示を参考にし、貴社のすべての運用商品を商品類型ごとに分類のうえ、各類型内の商品数および残高割合(%)を表内にご記入下さい。残高割合は合計が100%になるようにご記入下さい(小数点以下は四捨五入)。

《参考》

商品類型番号	商品類型	具体的商品の例示
①	預貯金	定期預金、定額貯金など
②	信託商品	金銭信託、貸付信託など
③	公社債投資信託	中期国債ファンド、MMFなど
④	株式投資信託	株式バランスファンド、株式インデックスファンドなど
⑤	債券	利付金融債、転換社債など
⑥	株式	個別株式、株式累積投資など
⑦	保険商品	利率保証型年金保険など

運用商品類型		運用商品数		運用残高割合(%)	
預貯金		()		()	
信託商品		()		()	
公社債投資信託		()		()	
内 訳	MMF	内 訳	[]	内 訳	[]
	中期国債ファンド		[]		[]
	その他の公社債投		[]		[]
株式投資信託		()		()	
内 訳	バランス型	内 訳	[]	内 訳	[]
	インデックス型		[]		[]
	その他の株式投信		[]		[]
債券		()		()	
株式		()		()	
保険商品		()		()	
運用商品全体		()		100%	

*問50 問49の《参考》に示された商品類型を参考にし、貴社のすべての運用商品名と商品類型番号、さらに総残高に占める商品類型ごとの残高割合を商品類型番号順に表中にご記入下さい（小数点以下は四捨五入）。残高割合は合計が100%になるようご記入下さい。また、元本確保型の運用商品には該当欄に○をご記入下さい。デフォルトファンドがある場合には、当該運用商品の該当欄に○をご記入下さい。

運用商品名	商品類型番号	残高割合 (%)	元本確保型商品	デフォルトファンド
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				

(前表-つづき)

運用商品名	商品類型 番号	残高割合 (%)	元本確保型商品	デフォルトファン ド
36				
37				
38				
39				
40				
運用残高割合の合計		100 %		

*問51 前問の運用商品番号を下表の左に記載してあります。前問でご記入いただいた運用商品につきまして、売買に関する発注日（販売会社が売買指図を受け付ける日）から約定日・受渡日までの必要日数と、売却・購入時の手数料（定額、運用資産額に対する比率又は考え方）を表中の同じ番号のところに記入下さい。

運用商品 番号	売却時点			購入時点		
	約定日	受渡日	手数料	約定日	受渡日	手数料
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						

(前表-つづき)

運用商品 番号	売却時点			購入時点		
	約定日	受渡日	手数料	約定日	受渡日	手数料
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						

問52 運用商品購入の発注に際し、「購入発注日は売却約定日の翌日」とする取扱いの原則はありますか。1つを選び○をお付け下さい。
その他、取扱いの原則があれば、具体的にご記入下さい。

1 ある 2 ない

取扱いの原則

*問53 これまでの商品類型を参考に、男女別、世代別の1人当たり平均商品選択数をご記入下さい（小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位でお答え下さい）。

商品類型	男 子	女 子
① 預貯金		
② 信託商品		
③ 公社債投資信託		
④ 株式投資信託		
⑤ 債券		
⑥ 株式		
⑦ 保険商品		
計		

商品類型	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
① 預貯金					
② 信託商品					
③ 公社債投資					
④ 株式投資信					
⑤ 債券					
⑥ 株式					
⑦ 保険商品					
計					

*問54 問53と同様に、男女別、世代別の1人当たり運用割合の平均値をご記入下さい（小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位でお答え下さい）。

商品類型	男 子	女 子
① 預貯金		
② 信託商品		
③ 公社債投資信託		
④ 株式投資信託		
⑤ 債券		
⑥ 株式		
⑦ 保険商品		
計	100%	100%

商品類型	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
① 預貯金					
② 信託商品					
③ 公社債投資					
④ 株式投資信					
⑤ 債券					
⑥ 株式					
⑦ 保険商品					
計	100%	100%	100%	100%	100%

VIII 実施企業としてのご意見、ご要望について、その理由も添えて具体的にご記入下さい。

問55 国に対するご意見、ご要望をご記入下さい。

問56 運用関連運営管理機関に対するご意見、ご要望をご記入下さい。



問57 記録関連運営管理機関に対するご意見、ご要望をご記入下さい。



問58 資産管理機関に対するご意見、ご要望をご記入下さい。



問59 その他、ご自由にご意見、ご要望をご記入下さい。

--

問60 貴社が確定拠出年金を導入して良かった点、悪かった点をご自由にご記入下さい。

(良かった点)
(悪かった点)

《ご協力ありがとうございました。》

確定拠出年金実態アンケート調査

個人調査フェイスシート

○あなたご自身について、以下の項目にお答え下さい。性別、職業については、番号に○をお付け下さい。

年 齢		性 別	1 男 2 女
居 住 地 (都道府県名)	都 道 府 県		
職 業	1 自営業 2 自由業 3 会社員 4 パートなど 5 その他 ()		

○勤務されている方は、差し支えなければ勤務先の企業名を記入し、業種については1つを選んで、番号に○をお付け下さい。

企 業 名				
	1 鉱業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス業 5 運輸・通信業 6 卸売・小売業 7 金融・保険業 8 不動産業 9 サービス業 10 その他 ()			

問6 問3(「企業型」)で「希望による加入」を選択された方と、問2で「個人型」を選択された方にかがいます。あなたの加入理由について該当する項目を3つ以内で選び、番号に○をお付け下さい。「その他」を選ばれた方は、理由を()内にご記入下さい。

- 1 公的年金だけでは、老後生活が不安だから
- 2 企業年金・退職金が十分でなく、老後生活が不安だから
- 3 自助努力により老後生活に備えたいから
- 4 転職しても損にならず、継続的に資産形成できるから
- 5 税金などを考慮して、老後資産形成に有利と考えたから
- 6 自ら資金運用する良い機会だから
- 7 家族や周囲に薦められたから
- 8 取引のある金融機関などから薦められたから
- 9 その他()

問7 これまでの確定拠出年金の加入状況について1つ選び、番号に○をお付け下さい。「その他」を選ばれた方は、具体的内容を選択肢2~4にならい、()内にご記入下さい。

- 1 今回の加入が初めて
- 2 企業型 ⇔ 企業型
- 3 企業型 ⇔ 個人型
- 4 個人型 ⇔ 企業型
- 5 その他()

II 投資教育の状況と評価について、以下の項目にお答え下さい。

問8 これまでに受けられた投資教育について、該当する実施主体すべての番号に○をお付け下さい。

- 1 自社
- 2 運営管理機関
- 3 専門機関
- 4 その他()

*問9 投資教育の内容別に、採用されていた実施方法について該当する表中番号に○をご記入下さい。
また、教育内容の理解度について、投資教育の内容別に1つ選んで、該当する表中番号に○をお付け下さい。実施方法の評価については、採用されていた実施方法別に該当する表中番号に○をご記入下さい。

項目	説明会 開催	資料 配布	ウェブ・ サイト	ビデオ・ DVD	その他 ()	内容の理解度
① 制度内容	1	2	3	4	5	1・2・3・4
② 加入手続き	1	2	3	4	5	1・2・3・4
③ 資産運用方法	1	2	3	4	5	1・2・3・4
④ 運用商品	1	2	3	4	5	1・2・3・4
⑤ その他 ()	1	2	3	4	5	1・2・3・4

(内容の理解度)

1 十分理解できた 2 理解できた 3 あまり理解できなかった 4 全く理解できなかった

(実施方法の評価)

項目	説明会 開催	資料 配布	ウェブ・ サイト	ビデオ・ DVD	その他 ()
① 効果的	1	1	1	1	1
② やや効果的	2	2	2	2	2
③ あまり効果的でない	3	3	3	3	3
④ 効果なし	4	4	4	4	4

問10 問9で説明会を受講したと答えられた方は、実施回数、1回平均受講時間をお答え下さい。

回数 (回) 1回平均受講時間 (時間)

問11 現在、企業や運営管理機関が加入者に対して具体的な投資に関するアドバイス（個別商品に関する推奨・助言）をすることは、利益相反行為につながることから禁じられていますが、一般的な投資教育のみならず、具体的な投資に関するアドバイスを受けたいかどうかについてどちらかを選び、番号に○をお付け下さい。

1 思う 2 思わない

問12 前問で「思う」とお答えの方は、具体的な投資のアドバイスをどこから受けたいかについて1つを選び、番号に○をお付け下さい。

1 自社 2 自社の運営管理機関
3 第三者的な投資専門機関 4 その他 ()

Ⅲ 運用や記録管理に関する会社の業務の評価について、以下の項目にお答え下さい。

問13 これまでにコールセンターを利用したことがあるかどうかについてどちらかを選び、番号に○をお付け下さい。

- 1 ある 2 ない

問14 前問で「ある」とお答えの方は、利用頻度について1つを選び、番号に○をお付け下さい。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 頻繁に利用する | 2 週2～3回以上 |
| 3 週1回程度 | 4 月2～3回程度 |
| 5 月1回程度 | 6 2～3ヶ月に1回程度 |
| 7 ほとんど利用しない | |

問15 同じく「ある」とお答えの方は、利用目的について、該当するものすべての番号に○をお付け下さい。

- 1 制度内容
2 加入手続き
3 運用商品
4 その他
()

問16 同じく「ある」とお答えの方は、その際の対応の状況について1つを選び、番号に○をお付け下さい。

- 1 良い 2 普通 3 良くない

問17 前問で「良い」または「良くない」とお答えの方は、その理由をご記入下さい。

.....

問24 一般的な運用指図の事務処理の対応について1つを選び、番号に○をお付け下さい。

- 1 良い 2 普通 3 良くない

問25 前問で「良い」または「良くない」とお答えの方は、その理由をご記入下さい。

問26 記録管理会社からの通知書に対する理解度について1つを選び、番号に○をお付け下さい。

- 1 十分理解できた 2 やや理解できた
3 あまり理解できなかった 4 全く理解できなかった

問27 理解できなかったときの具体的な対応について、該当するものすべての番号に○をお付け下さい。

- 1 コールセンターに問い合わせた 2 事業主に確認した
3 何もしなかった 4 その他 ()

IV 資産運用の具体的な状況について、以下の項目にお答え下さい。

問28 確定拠出年金への掛金額（月額）をご記入下さい。あわせて国民年金基金への掛金の拠出がある場合には、その掛金額もご記入下さい（単位：円）。

掛金額（月額）（ ）円／月

国民年金基金への掛金額（月額）（ ）円／月

問29 確定拠出年金で選択されている運用商品数をご記入下さい。あわせて元本確保型商品数もお答え下さい。

商品総数（ ）

うち 元本確保型商品数（ ）

*問30 下の商品類型と具体的商品の例示を参考にし、あなたが運用されているすべての運用商品名と商品類型番号、さらに残高割合を商品類型番号順に表中にご記入下さい。残高割合は合計が100%になるようご記入下さい(小数点以下は四捨五入)。該当するものがないときは、運用商品の欄に0をご記入下さい。

商品類型番号	商品類型	具体的商品の例示
①	預貯金	定期預金、定額貯金など
②	信託商品	金銭信託、貸付信託など
③	公社債投資信託	中期国債ファンド、MMFなど
④	株式投資信託	株式バランスファンド、株式インデックスファンドなど
⑤	債券	利付金融債、転換社債など
⑥	株式	個別株式、株式累積投資など
⑦	保険商品	利率保証型年金保険など

運用商品名	商品類型番号	残高割合(%)
残高割合の合計		100%

問31 勤務先の会社が運用商品として自社株を提示した場合どうされますか。1つを選び、番号に○をお付け下さい。

- 1 是非選択したい
- 2 自社株なので選択せざるをえない
- 3 選択したくない

*問32 運用商品の選択理由を挙げてあります。あなたが運用している商品について商品類型ごとに、重視した選択理由を3つ以内の順位で選び、以下の該当欄に番号でご記入下さい。

商品類型	1位	2位	3位
① 預貯金			
② 信託商品			
③ 公社債投資信託			
④ 株式投資信託			
⑤ 債券			
⑥ 株式			
⑦ 保険商品			

選択理由

- 1 元本確保型の商品は安全だから
- 2 経済状況を参考にしながら投資成果が楽しめるから
- 3 老後資産を安定的に殖やしたいから
- 4 自身の投資方針に適しているから
- 5 自身のライフ・プランに適しているから
- 6 お任せタイプの運用商品だから
- 7 リスクとリターンのバランスを考慮
- 8 取扱金融機関が信用できるから
- 9 これまで利用し親しみある商品（取扱金融機関）であるから
- 10 手数料など商品内容を良く理解できるから
- 11 資産価値や資産価格が確認しやすいから
- 12 金利、配当が良いから
- 13 その他 具体的にご記入下さい。
()

問33 これまでの運用商品選択変更の回数をご記入下さい。

(回)

問34 これまでの運用商品選択の変更理由について該当するものすべてを選び、番号に○をお付け下さい。

- 1 経済環境やマーケット状況の変化
- 2 ライフ・プランや資金計画の変化
- 3 当該運用商品の実績値からの変更判断
- 4 当該運用商品への理解が深まったこと
- 5 その他 具体的にご記入下さい

()

V 加入者としてのご意見、ご要望およびその理由についてお聞かせ下さい。

問35 確定拠出年金について、つぎのキーワードを参照しながら、ご自由にご意見・ご要望をご記入下さい。

<拠出限度額、従業員本人拠出、中途引出し、年金受給時期、加入手続き、投資教育、運用商品、資産運用方法、手数料、ポータビリティなど>

問36 確定拠出年金に加入して良かった点、悪かった点をご自由にご記入下さい。

良かった点
悪かった点

《ご協力ありがとうございました》

確定拠出年金制度の運用実態アンケート調査結果分析 (石田 成則)

<企業調査>

◎ 回答企業の特性

1) 全企業数67社のうち、企業規模別（加入者数別）の会社数は下表の通りである。なお、企業規模別の比較において、サンプル数が1社である「5000人以上9999人以下」は対象外としている。

企業規模	従業員規模別 社数	加入者規模別 社数
10人未満	3	3
10人以上99人以下	22	24
100人以上299人以下	7	10
300人以上499人以下	7	7
500人以上999人以下	5	10
1000人以上4999人以下	11	7
5000人以上9999人以下	1	1
10000人以上	8	3
合計	67 (不明3)	67 (不明2)

2) 全く新規に導入した企業の特徴を見るために、それ以外の企業との比較を行っている。「新規導入企業」とは、アンケート調査 問16「確定拠出年金の導入パターン」の回答から、「新規に導入した」を選んだ企業群を指し、それ以外を選んだ企業群を「その他企業」とした。「新規導入企業」のサンプル総数は25社、「その他企業」のサンプル総数は42社である。